

論文内容の要旨

報告番号		氏名	森川英子
Association of Adolescent Smoking with Maternal Smoking 思春期の喫煙と母親の喫煙の関係			

論文内容の要旨

【はじめに】

本研究の目的は、思春期の子どもの喫煙経験と家族の喫煙状況を詳細に分析することにより未成年者に対する喫煙防止戦略を再構築するうえで有用な知見を得ることである。

【対象・方法】

本研究では2004年に奈良県で行われた「子どもの生活習慣病予防調査」で中学生4,776人、高校生5,047名から得た調査結果を分析した。中学生・高校生の喫煙経験と家族喫煙との関係、父単独喫煙、母単独喫煙、兄単独喫煙、姉単独喫煙についてクロス集計、 χ^2 乗検定を行い、オッズ比を求めた。さらに、中学生・高校生の喫煙経験と学年、性別、家族の喫煙状況についてロジスティック回帰分析を行った。

【結 果】

喫煙経験について中学生では、父が単独喫煙する場合とそれ以外のオッズ比は0.60、母が単独喫煙する場合のオッズ比は2.50であった。高校生では、父が単独喫煙する場合とそれ以外のオッズ比は0.76、母が単独喫煙する場合のオッズ比は2.66であった。これらはすべて有意差があり、母が単独で喫煙すると、父が単独で喫煙するよりも、中学生、高校生の喫煙経験に対して特に高いオッズ比を示した。

【考 察】

本研究では、父に比べ、母の喫煙が中学生・高校生の喫煙経験に大きな影響を与えていることが明らかとなった。今後の思春期の子どもの喫煙防止戦略を再構築する際に、母に対する喫煙防止対策も合わせて検討する必要性が明らかになった。